

### 仕事や勉強における、教わる側の聞き方の基本③

#### ●質問をまとめる力

ちょっと質問タイムからセミナーまで、やることは基本的に同じです。

それは「**自分の疑問点をまとめておく**」ということ。

質問や疑問点を整理してまとめておけば、効率よく教えてもらうことができます。

ノートでもメモ帳でもいいので、何かを教わるにあたってはどこがわからないのかを明確にしましょう。

そこをハッキリとさせておくことによって聞くべきポイントがわかりますし、アドバイスする側もしやすいもの。

そのような前処理をしておくだけでも随分と違ってくるもので、聞くことをまとめておけばよりスムーズに理解できます。

本当にちょっとしたことですが、それによって飛躍的に効率が上がるのは否定できません。

**人に何かを教えてもらうということは、それだけの時間を使うということです。場合によってはお金もかかります。**

それだけの時間、あなたはやるべきことに対して取り組めないわけですから、それに見合ったものを得る必要があります。

セミナーに行くことそのものが目的化してしまうと、かえって何もえられないでしょう。

問題解決のために行くというようにすればムダがなくせます。

別にイヤイヤ教えてもらいに行くのであれば、行かないほうがいいのです。

そもそもイヤイヤ行く時点で行くことそのものが目的化していますので、いい効果も期待できません。

それよりは自分の出来ることを精一杯やり、どうしてもわからないところを洗い出す。

こっちのほうが後々のためになります。

#### ●調べる努力

自分で調べる努力は、質問する・教えてもらうことにおいて必須のものです。

質問や教えてもらう時間を最小限にとどめ、実践の時間を増やすほうが有意義な時間の使い方といえます。

**質問できる機会があったら、調べられる範囲のことについては自分で調べておく。**

これによって教えてもらう際、スムーズに話が進みます。

調べられる範囲のことを自分で調べると言うのは、好印象を与えるだけではありません。

話をスムーズに進められるという効果もあります。

これはコミュニケーションが双方の理解度をベースとするものであるからです。

**基本的にコミュニケーションというのは自分と相手の理解度に差があるとうまくいきません。**

自分が100知っていて相手が10しか知らないとうまくいきませんし、自分が10しか知らない状態で100の話を聞いても理解できません。

情報の粒度を揃えることで、ようやく有意義な話ができるようになります。

質問をできるチャンスというのは、答える側の理解度が高い状態です。

そのために自分がどれくらい調べられるかによってアドバイスが生きる・生きないも決まってきます。

あなたが自学した状態で臨めばいいレスポンスを得られますし、質問そのものにもムダがなくなる。

つまりはあなた自身が勉強をして望むことによって、あなたに返ってくるものが大きくなるのです。

自分で調べるというのは労力がともなうため、やりたがる人は少ないでしょう。

しかしそこで妥協してしまってはダメで、ひたすら自分の欠点・不明な点についてハッキリさせ、質問を準備する。

このようなことを抜き取りなくやることで、教えてもらう行為そのものを有意義なものにできます。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として  
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

そこでの答えの質が後々の成果に影響するのはいうまでもありません。

### ●まとめ

上記の内容を素直に実行できれば、それはもう苦労しなくて済むでしょう。

しなしながら実際にはできる人が少なく、特に「素直に実行する」「論理で話を聞く」あたりは難しいです。

逆に言えば、そこをしっかりとできる人は強いということ。

多くの人が苦手としていることをできれば、それだけ周囲と差がつかます。

この記事を読んで素直に実行するかはあなた次第。

「うるせーそんなのわかってる」というのであれば、実行するまでもないでしょう。既にわかっていることをいちいちやる必要はありません。自分なりの方法が確立されているのであれば、そこに磨きをかけるだけで十分です。

冒頭にてきた人については、まあ想像がつかと思いますが、その後本屋に行くわけでもなく、即帰宅。

そこでの1アクションの違いを生むんですけどね。

図書館に行くか行かないか、Amazonにその場でアクセスするかしないか。これらは本当にちいさなこと。

ですがそのような本当にちょっとしたことが積み重なって、大きな差を生むのです。

ケーススタディの人生より



### 1月20日は『中華まんの日』

一般的にはあまり知られていない記念日ですが、大寒でもある1月20日は北海道旭川で-41度の日本最低気温が記録された事もある寒い日。

そこで、そんな寒い日にはアツアツの中華まんを食べて体の中から温まろうという事で、中華まんの日が制定されたのだそうです。

因みに、中華まんの考案者はかの有名な諸葛孔明なのだそうです。

古代中国では川の氾濫を鎮めるため、人の頭を生贄としたのですが、大切な部下の命を奪うことを良しとしない孔明。

人頭に似せた中華まんを作らせて川に投げ入れ氾濫を鎮めて、見事戦いにも勝利をおさめたという故事があるのです。

そんな逸話などにも残る古い歴史のある中華まんは、専門店からコンビニにまで豊富なバラエティのものが売られています。

寒い季節の代表的なスナックとして大変人気がありますので、祈念日の1月20日には、お気に入りの逸品を頼張って皆さん暖をとってくださいね。

好きな中華まんランキングでは、どの年代でも1位は肉まん・豚まん 2位はあんまんでした。最近様々な味の中華まんが売っていますが、肉まん・あんまんはやはり不動の人気ですね。3位以降は年代によって変わるようです。

### 2020年はどんな年になる？

東京で2回目のオリンピックが開催される2020年は、日本にとって大きな節目となります。また、この年は、「子年」にあたり、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。

子年は新しい運気のサイクルの始まりです。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。また、ねずみは「ねずみ算」という言葉があるほど、子どもをどんどん生んで数を増やしていくことから「子孫繁栄」の象徴でもあります。

株式市場にも「子年は繁栄」という格言があり、株価が上昇する傾向にあるとされています。そうですね。

#### 2020年の干支は庚子

庚→完成した個人・組織から不要な価値観をそぎ落とし、新しい環境へ対応する体制を整える年

子→個人は自分の軸となる価値観をしっかりと持つ、組織は新たな局面に対応できる人材の育成・活用に取り組む年

新しい時代、新しい自分への変化を遂げていく年になりそうです。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として  
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します